

令和5年度 年間指導計画・評価計画 【3年 国語科】担当：高須 宏明

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	○世界はうつくしいと ○握手	●表現方法、リズムなどに気を付けながら音読し、自分にとっての「うつくしいもの」について考える。作者の考えを読み取る。 ●会話やエピソードに着目して登場人物の心情や人物像を捉える。	知・技 (1) イ 思考・読む (1) ア イ	知識・技能 主体的に取り組む 態度	○印象に残る表現を抜き出し、その効果や工夫について考えている。 ○表現に即して人物像を読み取っている。	プリント 授業観察
	5 月	○付属語 ○学びて時にこれを習う～『論語』から ○情報整理のレッスン ○漢字に親しもう ○文章の種類を選んで書こう	●付属語の種類と働きを知る。 ●孔子の見方、考え方を読み取り、自分に当てはめて考える。 ●「学ぶこと」の意味を考える。 ●編集された情報の信頼性を考える姿勢を養う。 ●目的を考えて文章を作成することについて理解し、実践する。 ●熟語の構成について知る。	知・技 (1) イ 思考・読む (1) エ 書く (1) アイ	知識・技能 主体的に取り組む 態度 書く	○漢文の読みの決まりを理解し、書き下し文にすることができる。 ○漢文特有の表現に慣れ、滑らかに音読することができる。 ○孔子の考え方に対する自分の考えをもてる。 ○情報の発信源、目的などの観点から情報の信頼性を確認することができる。 ○目的・相手・場面に応じて適切な文章を工夫している。 ○熟語の成り立ちや構成への理解を深めている。	プリント 授業観察 定期考査
	6 月	○思考のレッスン ○作られた「物語」を超えて ○スピーチで社会に思いを届ける リオの伝説のスピーチ ○漢字に親しもう ○スイカは幾つ必要？	●具体と抽象の関係の中にある論理の展開に注意しながら、筆者の主張を要約する。 ●ゴリラの事例を通して語られる人間の性質を捉える。 ●論理の展開に注意しながら、筆者の主張を要約する。 ●相手・場面・目的に合わせてふさわしいスピーチになるように、内容や順番、言葉遣いなどを考え、構成メモを作成する。 ●新出漢字への理解を深める。 ●「文法を活かす」から、文節の係り受けなどの理解を深め、知識を表現や読解に生かすポイントを確認する。	知・技 (2) アエ 思考・読む (1) ア ウ 話す (1) アイ	知識・技能 読むこと 主体的に取り組む 態度	○語句や論理の展開に即して自分なりに読み取ることができる。 ○自分の体験や知識、思いを材料にスピーチの話題を見つけ、構成を工夫してメモを作成することができる。 ○練習課題に積極的に取り組み、漢字の理解を深めている。 ○文法の知識を活かそうとしている。	プリント 授業観察 ワーク 定期考査
	7 月	○俳句の可能性 ○俳句を味わう ○言葉を選ぼう、もっと伝わる表現を目指して ○私の一冊を探しに行こう～本の世界を広げよう	●句に詠まれてい句に景を想像しながらそれぞれの俳句を理解する。 ●身の回りの風景や好きな季節などをテーマに俳句を作る。 ●日常生活での言葉の使い方を考える。 ●本を探すことについて実際に図書室等を利用しながら行い、帯やポップ、商標の作成を行う。	知・技 (1) イウ 思考・書く (1) イ ウ 読む (1) ウ (2) イウ	知識・技能 読むこと 主体的に取り組む 態度	○俳句の約束事を理解し、句に込められた作者の思いや情景を読み味わいを深めている。 ○表現をクフして自分の思いや感動を俳句に表現している。 ○日常の言語生活を振り返り、世代ごとの語彙の違いなど見つけようとしている。 ○多くのジャンルのあることを理解して、自分の興味の幅を広げようとしている。	プリント 授業観察 ワーク

令和5年度 年間指導計画・評価計画 【3年 国語科】担当：高須 宏明

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	○故郷 ○聞き上手になるう～質問で相手の思いにせまる ○慣用句・ことわざ・故事成語	●場面や登場人物の設定に着目して読み取り、人物の心情や関係の変化を時代背景と合わせて捉える。 ●話し手に対して効果的な質問とはどのようなものかを知る。 ●様々な表現に対する理解を深める。	知・技（1）イ 思考・読む（1）アイ 聞く（1）エ	知識・技能 主体的に取り組む 態度 書く	○場面や人物の心情を表す表現に着目し、審理を読み取っている。 ○関係の変化を示す表現を読み取っている。 ○話し手にとってどのような質問が意味のあるのかを考えている。 ○語彙を豊かにし、知識の幅を広げようとしている。	プリント 授業観察
	1 0 月	○挨拶 ○人工知能との未来 ○説得力のある批評文を書く ○話し合いを効果的に進める	●語句や表現委込められた意味を読み取る。 ●要旨を捉え、筆者の主張や意見を根拠を考えて読み取る。 ●論理の展開を考えて文章を書く。 ●それぞれの意見の共通点や相違点を確認して論点を明らかにしながら話し合いを進める。	知・技（1）イ 思考・読む（1）エ 書く（1）アイ 話す（2）イ	知識・技能 主体的に取り組む 態度 書く・話す	○比喩や象徴的な表現院着目し、筆者の思いを読み取っている。 ○二つの文章を比較して共通点や相違点を考え、それを基に考えを伝えあうことができる。 ○判断や根拠を明らかにして説得力のある構成で批評を書いている。 ○論点を明らかにしながら、効果的に話し合いが進められる。	プリント 授業観察 定期考査
	1 1 月	○初恋 ○古今和歌集 ○万葉・古今・新古今 ○夏草～「奥の細道」から	●七五調の文語定型詩の音読のリズムに慣れる ●歴史的仮名遣いに注意し、音読を通して古文の響きを味わう。 ●三大歌集の歌を比較し、時代による違いや表現を味わう。 ●江戸期の漢文調を交えた古文のリズムを味わう。 ●芭蕉の物の見方、感じ方を読み取る。	知・技（3）ア 思考・読む（1）ウ	知識・技能 読むこと 主体的に取り組む 態度	○古人の心情や情景を「読み取り、時代による表現の違いについて理解を深めている。 ○和歌に詠まれた内容について、自分の感じ方を示している。 ○日本の伝統的な知識を背景とした芭蕉の考え方を理解している。 ○冒頭の文章を音読、暗唱できる。、	プリント 授業観察 ワーク 定期考査
	1 2 月	○古典目一句・名言集 ○誰かの代わりに ○情報を読み取って文章を書く ○漢字に親しむ	●資料集等を参照しながら自分の気に入った名句・名言を選んでる。 ●抽象的な語句が、どのような意味で用いられているのか確かめる。 ●グラフから得られる情報を的確に読み取り、分析した文章を書くことができる。 ●ここまでに学習した漢字の復習を行う。	知・技（1）イウ 思考・書く（1）ウ オ（2）ア 読む（1）ウ（2）イウ	知識・技能 読む・書く 主体的に取り組む 態度	○古典の良さを味わい、楽しもうとしている。 ○筆者の主張を捉え、現代社会や生き方に対する自分の意見をもっている。 ○資料から読み取ったことを客観的な分析及び自分の意見を結び付けて文章を書くことができる。 ○ここまでに学習した漢字の理解を確認し、練習問題等を行い、確実にしていくことができる。	プリント 授業観察 ワーク

令和5年度 年間指導計画・評価計画 【3年 国語科】担当：飯森 有子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	○世界はうつくしいと ○握手	●表現方法、リズムなどに気を付けながら音読し、自分にとっての「うつくしいもの」について考える。作者の考えを読み取る。 ●会話やエピソードに着目して登場人物の心情や人物像を捉える。	知・技 (1) イ 思考・読む (1) ア イ	知識・技能 主体的に取り組む 態度	○印象に残る表現を抜き出し、その効果や工夫について考えている。 ○表現に即して人物像を読み取っている。	プリント 授業観察
	5 月	○付属語 ○学びて時にこれを習う～『論語』から ○情報整理のレッスン ○漢字に親しもう ○文章の種類を選んで書こう	●付属語の種類と働きを知る。 ●孔子の見方、考え方を読み取り、自分に当てはめて考える。 ●「学ぶこと」の意味を考える。 ●編集された情報の信頼性を考える姿勢を養う。 ●目的を考えて文章を作成することについて理解し、実践する。 ●熟語の構成について知る。	知・技 (1) イ 思考・読む (1) エ 書く (1) アイ	知識・技能 主体的に取り組む 態度 書く	○漢文の読みの決まりを理解し、書き下し文にすることができる。 ○漢文特有の表現に慣れ、滑らかに音読することができる。 ○孔子の考え方に対する自分の考えをもてる。 ○情報の発信源、目的などの観点から情報の信頼性を確認することができる。 ○目的・相手・場面に応じて適切な文章を工夫している。 ○熟語の成り立ちや構成への理解を深めている。	プリント 授業観察 定期考査
	6 月	○思考のレッスン ○作られた「物語」を超えて ○スピーチで社会に思いを届ける リオの伝説のスピーチ ○漢字に親しもう ○スイカは幾つ必要？	●具体と抽象の関係の中にある論理の展開に注意しながら、筆者の主張を要約する。 ●ゴリラの事例を通して語られる人間の性質を捉える。 ●論理の展開に注意しながら、筆者の主張を要約する。 ●相手・場面・目的に合わせてふさわしいスピーチになるように、内容や順番、言葉遣いなどを考え、構成メモを作成する。 ●新出漢字への理解を深める。 ●「文法を活かす」から、文節の係り受けなどの理解を深め、知識を表現や読解に生かすポイントを確認する。	知・技 (2) アエ 思考・読む (1) ア ウ 話す (1) アイ	知識・技能 読むこと 主体的に取り組む 態度	○語句や論理の展開に即して自分なりに読み取ることができる。 ○自分の体験や知識、思いを材料にスピーチの話題を見つけ、構成を工夫してメモを作成することができる。 ○練習課題に積極的に取り組み、漢字の理解を深めている。 ○文法の知識を活かそうとしている。	プリント 授業観察 ワーク 定期考査
	7 月	○俳句の可能性 ○俳句を味わう ○言葉を選ぼう。もっと伝わる表現を目指して ○私の一冊を探しに行こう～本の世界を広げよう	●句に詠まれてい句に景を想像しながらそれぞれの俳句を理解する。 ●身の回りの風景や好きな季節などをテーマに俳句を作る。 ●日常生活での言葉の使い方を考える。 ●本を探すことについて実際に図書室等を利用しながら行い、帯やポップ、商標の作成を行う。	知・技 (1) イウ 思考・書く (1) イ ウ 読む (1) ウ (2) イウ	知識・技能 読むこと 主体的に取り組む 態度	○俳句の約束事を理解し、句に込められた作者の思いや情景を読み味わいを深めている。 ○表現をクフして自分の思いや感動を俳句に表現している。 ○日常の言語生活を振り返り、世代ごとの語彙の違いなど見つけようとしている。 ○多くのジャンルのあることを理解して、自分の興味の幅を広げようとしている。	プリント 授業観察 ワーク

令和5年度 年間指導計画・評価計画 【3年 国語科】担当：飯森 有子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	○故郷 ○聞き上手になろう～質問で相手の思いにせまる ○慣用句・ことわざ・故事成語	●場面や登場人物の設定に着目して読み取り、人物の心情や関係の変化を時代背景と合わせて捉える。 ●話し手に対して効果的な質問とはどのようなものかを知る。 ●様々な表現に対する理解を深める。	知・技（1）イ 思考・読む（1）アイ 聞く（1）エ	知識・技能 主体的に取り組む 態度 書く	○場面や人物の心情を表す表現に着目し、審理を読み取っている。 ○関係の変化を示す表現を読み取っている。 ○話し手にとってどのような質問が意味のあるのかを考えている。 ○語彙を豊かにし、知識の幅を広げようとしている。	プリント 授業観察
	1 0 月	○挨拶 ○人工知能との未来 ○説得力のある批評文を書く ○話し合いを効果的に進める	●語句や表現委込められた意味を読み取る。 ●要旨を捉え、筆者の主張や意見を根拠を考えて読み取る。 ●論理の展開を考えて文章を書く。 ●それぞれの意見の共通点や相違点を確認して論点を明らかにしながら話し合いを進める。	知・技（1）イ 思考・読む（1）エ 書く（1）アイ 話す（2）イ	知識・技能 主体的に取り組む 態度 書く・話す	○比喩や象徴的な表現院着目し、筆者の思いを読み取っている。 ○二つの文章を比較して共通点や相違点を考え、それを基に考えを伝えあうことができる。 ○判断や根拠を明らかにして説得力のある構成で批評を書いている。 ○論点を明らかにしながら、効果的に話し合いが進められる。	プリント 授業観察 定期考査
	1 1 月	○初恋 ○古今和歌集 ○万葉・古今・新古今 ○夏草～「奥の細道」から	●七五調の文語定型詩の音読のリズムに慣れる ●歴史的仮名遣いに注意し、音読を通して古文の響きを味わう。 ●三大歌集の歌を比較し、時代による違いや表現を味わう。 ●江戸期の漢文調を交えた古文のリズムを味わう。 ●芭蕉の物の見方、感じ方を読み取る。	知・技（3）ア 思考・読む（1）ウ	知識・技能 読むこと 主体的に取り組む 態度	○古人の心情や情景を「読み取り、時代による表現の違いについて理解を深めている。 ○和歌に詠まれた内容について、自分の感じ方を示している。 ○日本の伝統的な知識を背景とした芭蕉の考え方を理解している。 ○冒頭の文章を音読、暗唱できる。、	プリント 授業観察 ワーク 定期考査
	1 2 月	○古典目一句・名言集 ○誰かの代わりに ○情報を読み取って文章を書こう ○漢字に親しむ	●資料集等を参照しながら自分の気に入った名句・名言を選んでる。 ●抽象的な語句が、どのような意味で用いられているのか確かめる。 ●グラフから得られる情報を的確に読み取り、分析した文章を書くことができる。 ●ここまでに学習した漢字の復習を行う。	知・技（1）イウ 思考・書く（1）ウ オ（2）ア 読む（1）ウ（2）イウ	知識・技能 読む・書く 主体的に取り組む 態度	○古典の良さを味わい、楽しもうとしている。 ○筆者の主張を捉え、現代社会や生き方に対する自分の意見をもっている。 ○資料から読み取ったことを客観的な分析及び自分の意見を結び付けて文章を書くことができている。 ○ここまでに学習した漢字の理解を確認し、練習問題等を行い、確実にしていくことができる。	プリント 授業観察 ワーク

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 国語科】担当：飯森 有子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	○「ない」の違いがわからない？ ○温かいスープ ○わたしを束ねないで	●文法事項を総合して判断をすることができる。 ●筆者の考える国際性とは何かを理解して、自分の考えをまとめる。 ●詩に込められた作者の思いを読み取り、自分の意見を持つ。	知・技（1）エ 思考・読む（1）エ	知識・技能 主体的に取り組む 態度 読む	○これまでに学習した文法事項の内容が十分に理解できている。 ○人と人との関係を通して国際性と何かを読み取り、それについて自分の考えを伝える文章を書くことができる。 ○効果的な語句の使い方や表現の工夫に着目して詩を味わっている。	プリント 授業観察
	2 月	○3年間の歩みを振り返ろう ○漢字に親しもう	●これまでの学校生活の経験や学習の内容を振り返り、冊子にまとめる。 ●まとめる観点を決め、内容を取捨選択する。 ●適切なコメントや編集後記を書いて仕上げる。	知・技（1）イ 思考・読む（1）エ 書く（1）アイ	知識・技能 主体的に取り組む 態度 書く	○三年間の学校生活の出来事や国語の学習から材料を集め、伝える目的を考えて攻勢を工夫している。	プリント 授業観察 作品集
	3 月	○学習をふりかえろう	●「1992年の秋空」「アイヌ民族：歴史と現在」を読んで、自分の学習課題を設定する。意見交流を通して自分の考えをまとめる。文章またはスピーチを行う。	知・技（2）アエ 思考・読む・書く （1）アウ 話す（1）ア	知識・技能 読むこと 主体的に取り組む 態度	○三年間で学習したことを活かし、自分で問題意識をもって文章を読んでいる。 ○学んだこと、読み取ったこと、考えたことを自分の今後につなげていこうとしている。	プリント 授業観察 定期考査 スピーチ・文集

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 社会科 歴史・公民】担当：中村均 漆沢伸一 崎涼太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	歴史 第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米の進出と日本の開国	開国から江戸幕府滅亡までの過程を、 欧米諸国の動きと関連させて理解させ る。また、開国の影響とその後の幕府 政治の推移について多面的・多角的に 考えさせる。	近代の日本と世界 -ア・イ	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に取り組 む態度	○ヨーロッパのアジア侵略について、その理由や背 景を多面的・多角的に考察して公正に判断し、適切 に表現している。 ○開国までの道すじや、開国から討幕までの動きの 中で日本が受けた政治的、経済的、社会的な影響に ついて考察するとともに、日本と世界を大観しなが ら追及しようとしている。	定期考査 ファイル ワークシート 問題集 観察
	5 月	歴史 第5章 開国と近代日本の歩み 2節 明治維新 3節 日清・日露戦争	富国強兵・殖産興業政策、文明開化な どの改革の特色を考えさせ、明治維新 によって近代国家の基礎が整えられ、 人々の生活が大きく変化したことを理 解させる。 自由民権運動、大日本帝国憲法の制 定、日清・日露戦争、条約改正などを 通して、立憲制の国家が成立して議会 政治が始まるとともに、我が国の国際 的地位が向上したことを理解させる。	近代の日本と世界 -ウ・エ	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に取り組 む態度	○開国の影響とその後の幕府政治の推移について、 追究し考察した過程や結果をまとめている。 ○新政府の諸改革の特色を理解している。また、こ れらの改革が近代国家の形成において、どのような 役割を果たしたかを考察するとともに、新政府が目 指した国家のかたちをイメージしようとしている。 ○日清・日露戦争の原因と結果について、各国の内 情をふまえて整理し、戦争後の日本の国際的地位の 向上について理解している。	定期考査 ファイル ワークシート 問題集 観察
	6 月	歴史 第6章 二つの世界大戦と日本 1節 第一次世界大戦と その後の世界	第一次世界大戦の背景とその影響、民 族運動の高まりと国際協調の動き、日 本の国民の政治的自覚の高まりと文化 の大衆化などを通して、第一次世界大 戦前後の国際情勢及び我が国の動き と、大戦後に国際平和への努力がなさ れたことを理解させる。	近代の日本と世界-オ	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に取り組 む態度	○第一次世界大戦の様子と戦後世界の変化につい て、資料から有用な情報を選択し、活用できている。	定期考査 ファイル ワークシート 問題集 観察
	7 月	歴史 第6章 二つの世界大戦と日本 第2節 世界恐慌と日本の 中国侵略	経済の世界的混乱と社会問題の発生、 昭和初期から第二次世界大戦の終結ま での我が国の政治・外交の動き、戦時 下の国民の生活などを通して、郡部の 台頭から戦争までの経緯と、大戦が人 類全体に惨禍を及ぼしたことを理解 させる。	近代の日本と世界-カ	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に取り組 む態度	○第二次世界大戦の終結までの日本の政治・外交の 動き、中国などのアジア諸国との関係、欧米諸国の 動き、戦時下の国民の生活などについて調べ、自分 の考えを表現し発表している。	定期考査 ファイル ワークシート 問題集 観察
1 学期	4 月	公民 第1章 現代社会と私たちの生活	少子高齢化、グローバル化、情報化な どの現代社会の特色を理解させ、それ らが政治、経済、国際関係に影響を与 えていることに気づかせる。 現代社会の課題を解決するための見 方・考え方を理解させる。	私たちと現代社会 -ア・イ	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に取り組 む態度	○現代社会における文化の意義や影響、現代社会の 特徴である少子高齢化、情報化、グローバル化など の変化を具体的な事実とともに理解している。 ○現代社会の課題を解決するための見方・考え方を 理解するとともに、自分の生活に活かそうとしてい る。	定期考査 ノート ワークシート 授業観察
	5 ・ 6 ・ 7 月	公民 第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と経済 2節 生産と労働	身近な消費生活を中心に経済活動の意 義を理解させるとともに、社会におけ る企業の役割と責任について考えさせ る。その際、社会生活における職業の 意義と役割及び雇用と労働条件の改善 について、勤労の権利と義務、労働組 合の意義及び労働基準法の問題と関連 付けて考えさせる。	私たちと政治-ア	知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に取り組 む態度	○身近な事例を基に、消費や企業の生産活動、労 働、生産と金融の仕組みや働きについて理解すると ともに、市場経済の基本的な考え方を身につけ、そ の考え方を活用して経済的事象を捉えている。	定期考査 ノート ワークシート 授業観察

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 社会科 歴史・公民】担当：中村均 漆沢伸一 崎涼太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	歴史 第6章 二つの世界大戦と日本 3節 第二次世界大戦と日本 第6章 現代の日本と世界 第1節 戦後の日本と世界	第二次世界大戦の原因や概要について理解させ、ヨーロッパとアジアの動きを比較しながら日本の動向を考えさせる。 第二次世界大戦後の、日本の民主化と再建、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら理解させる。	近代の日本と世界-カ 現代の日本と世界-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○当時の日本の政府や軍部の主張などを批判的に読むなど、公正な立場で考え、自分の意見を述べている。 ○終戦から現代に至るまでの流れや、日本や世界の抱える将来の課題を理解している。	定期考査 ファイル ワークシート 問題集 観察
	1 0 月	第6章 現代の日本と世界 第2節 冷戦下の世界と日本の 経済成長 公民 第2章 個人の尊重と日本国憲法 第1節 人権と日本国憲法	冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを通して、第二次世界大戦後の諸改革の特色を考えさせ、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解する。 日本国憲法の制定のについて、大日本帝国憲法と比較させながら、日本国憲法の基本原理を中心に理解させる。	現代の日本と世界-ア・イ 私たちと政治-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○終戦から現代に至るまでの問題や、日本や世界の抱える将来の課題を理解している。 ○冷戦、日本の民主化の過程、国際社会への復帰など、現代の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追求して現代の特色を捉えようとしている。 ○日本国憲法の基本原理に関わる諸課題について、そのあらしや解決への方向性を、日本国憲法の規定を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	定期考査 ファイル ワークシート 問題集 観察
	1 1 月	公民 第2章 個人の尊重と日本国憲法 第2節 人権と共生社会 第2章 個人の尊重と日本国憲法 3節 これからの人権保障	日本国憲法に定められている基本的人権の種類やその内容について、具体的な事例を通して理解させる。 インターネットと人権との関係や人権保障の国際的な広がりなどについて、統計資料や新聞記事などを適切に選択させ、現状と課題を読み取らせるとともに、その解決策について多面的・多角的に考えさせる。	私たちと政治-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○日本国憲法に定められた基本的人権について、具体的な生活と関連づけて理解するとともに、自由・権利と責任・義務の関係を社会生活の基本として広い視野から正しく認識し、知識を理解している。 ○社会の変化に伴って生じた人権上の新しい課題について、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察している。	定期考査 ファイル ワークシート 問題集 観察
	1 2 月	公民 第3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治 2節 国の政治の仕組み	政党の役割や選挙制度、世論などの政治参加の方法について多面的・多角的に考察させ、望ましい政治参加の在り方について自分の考えを表現させる。また、国会・内閣・裁判所の地位や役割、相互関係のあらしを理解させる。	私たちと政治-イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○選挙をはじめとする国民の政治参加が民主政治を支えていることに気づき、望ましい政治参加の在り方について、資料の読み取りや話し合いなどを通して多面的・多角的に考察し、自分の考えを分かりやすく表現している。	定期考査 ファイル ワークシート 問題集 観察
	9 ・ 1 0 月	公民 第4章 私たちの暮らしと経済 3節 価格の働きと金融	身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。また、現代の金融などの仕組みや働きを理解させる。		知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○身近な事例を基に、消費や企業の生産活動、労働、生産と金融の仕組みや働きについて理解するとともに、市場経済の基本的な考え方を身につけ、その考え方を活用して経済的事象を捉えている。	定期考査 ノート ワークシート 授業観察
	1 1 ・ 1 2 月	第4章 私たちの暮らしと経済 4節 政府の役割と国民福祉 5節 これからの経済と社会	国民の生活と福祉の向上を図るために、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護など、市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割について考えさせる。また、財源の確保と配分という観点から財政の役割について考えさせる。その際、租税の意義と役割について考えさせるとともに、国民	私たちと経済-イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○国民の生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について、財源の確保と配分や、対立と合意、効率と公正などの観点から、判断している。 ○公債残高の増加や少子高齢化社会における社会保障のあり方など、財政上の課題のありましについて理解している。 ○政府の経済的な役割などについて関心をもち、経	定期考査 ノート ワークシート 授業観察

の納税の義務について理解させる。

済に関する諸課題について意欲的に追求している。

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 社会科 歴史・公民】担当：中村均 漆沢伸一 崎涼太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	公民 第3章 現代の民主政治と社会 3節 地方自治と私たち	地方自治が直接請求という直接民主制の方法を導入している理由について、国と地方公共団体の比較を通して多面的・多角的に考察させるとともに、主権者としての政治参加の在り方について考えさせる。	私たちと政治-イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○住民自治や地方分権の考え方について、既習事項を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	定期考査 ファイル ノート ワークシート 問題集 観察
		公民 第5章 地球社会と私たち 1節 国際社会の仕組み	世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを認識させ、国際社会における我が国の役割について考えさせる。	私たちと国際社会の 諸課題-ア		○国際社会の抱える諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追求し、より良い地球社会を築くための解決策について考え続けようとする態度が見られる。 ○世界平和の実現と人類の福祉の増大の観点から、国家相互の主権の尊重、各国の相互理解と協力の重要性について理解している。	
	2 月	公民 第5章 地球社会と私たち 第2節 さまざまな国際問題	地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解させる。	私たちと国際社会の 諸課題-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○国際社会の現状や諸課題に関するさまざまな資料から学習に役立つ情報を適切に選択し、的確に読み取り図表などにまとめたりしている。	定期考査 ファイル ノート ワークシート 問題集 観察
	3 月	公民 第5章 地球社会と私たち 3節 これからの地球社会と日本	持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究させ、自分の考えをまとめさせる。	私たちと国際社会の 諸課題-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○国際社会の諸課題やその解決への取り組みについて考察し、課程や結果を適切に表現したり、発表をとおして考えを深めたりしている。	定期考査 ファイル ノート ワークシート 問題集 観察

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 数学科】 担当：浜砂美紀

指導の観点：◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	1章 文字式を使って 説明しよう [多項式] 1節 多項式の計算 2節 因数分解 3節 式の計算の利用	①単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式でわる除法の計算をすることができる。 ②簡単な1次式の乗法の計算及び公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。 ③既習の計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解をする方法を考察し表現することができる。 ④文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明することができる。	A数と式(2) ア(ア) ア(イ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。 ◇簡単な1次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。 ☆既に学習した計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解する方法を考察し表現することができる。 ☆文字を用いた式を活用して数量及び数量の関係を捉え説明することができる。 ○式の展開や因数分解をすることの必要性や意味を考えようとしている。 ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	5 月	2章 数の世界を さらにひろげよう [平方根] 1節 平方根 2節 根号をふくむ 式の計算 3節 平方根の利用	①数の平方根の必要性和意味を理解することができる。 ②数の平方根を含む簡単な式の計算をすることができる。 ③具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。 ④既習の計算の方法と関連付けて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現することができる。 ⑤数の平方根を具体的な場面で活用することができる。	A数と式(1) ア(ア) ア(イ) ア(ウ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇平方根の必要性和意味を理解している。 ◇有理数、無理数の意味を理解している。 ◇平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができる。 ◇具体的な場面で平方根を用いて表したり処理したりすることができる。 ☆既習の文字式の計算などと関連付けて、平方根をふくむ式の計算の方法を考察し表現することができる。 ☆平方根を具体的な場面で活用することができる。 ○平方根の必要性や意味を考えようとしている。 ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	授業観察 プリント課題 問題集課題 確認テスト 観点別単元テスト 定期考査 自己評価シート
	6 月	3章 方程式を利用して 問題を解決しよう [2次方程式] 1節 2次方程式と その解き方 2節 2次方程式の 利用	①2次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解することができる。 ②因数分解したり平方の形に変形したりして2次方程式を解くことができる。 ③解の公式を理解し、それを用いて2次方程式を解くことができる。 ④因数分解や平方根の考えを基にして、2次方程式を解く方法を考察し表現すること。 ⑤2次方程式を具体的な場面で活用することができる。	A数と式(3) ア(ア) ア(イ) ア(ウ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇2次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ◇平方の形に変形し2次方程式を解くことができる。 ◇解の公式の意味を理解し、それを用いて2次方程式を解くことができる。 ◇因数分解を利用して2次方程式を解くことができる。 ◇事象の中の数量やその関係に着目し、2次方程式をつくることができる。 ☆平方根や因数分解の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ☆具体的な問題の解決に2次方程式を活用し、解が適切であるかどうかを判断することができる。 ○2次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	7 月						

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 数学科】 担当：浜砂美紀

指導の観点：◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	4章 関数の世界を広げよう [関数 $y=ax^2$] 1節 関数 $y=ax^2$ 2節 関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方 3節 いろいろな関数の利用	①事象の中には関数 $y=ax^2$ として捉えられるものがあることを理解することができる。 ②関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解することができる。 ③関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え説明することができる。 ④いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解することができる。	C関数 (1) ア(ア) ア(イ) ア(ウ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇関数 $y=ax^2$ について理解している。 ◇関数 $y=ax^2$ と捉えられる事象を知っている。 ◇関数 $y=ax^2$ を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 ◇事象の中に、関数関係があることを理解している。 ☆関数 $y=ax^2$ と捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ☆関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 ○関数 $y=ax^2$ の必要性和意味を考えようとしている。 ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	10 月	5章 形に着目して図形の性質を調べよう [相似な図形] 1節 相似な図形 2節 平行線と比 3節 相似な図形の面積と体積	①平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件を理解することができる。 ②三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ③平行線と線分の比についての性質を見だし、それを確かめることができる。 ④基本的な立体の相似の意味と、相似な図形の相似比と面積比及び体積比の関係について理解することができる。 ⑤相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。	B図形 (1) ア(ア) ア(イ) イ(ア) イ(イ) イ(ウ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。 ◇相似な平面図形の相似比と面積比の関係について理解している。 ◇基本的な立体の相似の意味を理解し、相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係について理解している。 ◇誤差、有効数字の意味を理解し、近似値を $a \times 10^n$ の形に表現することができる。 ☆三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ☆平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができる。☆相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。 ○図形の相似の意味や、相似な図形の相似比と面積比や体積比の関係を考えようとしている。 ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	授業観察 プリント課題 問題集課題 確認テスト 観点別単元テスト 定期考査 自己評価シート
	11 月	6章 円の性質を見つけて証明しよう [円] 1節 円周角の定理 2節 円周角の定理の利用	①円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知る。 ②円周角と中心角の関係を見いだすことができる。 ③円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。	B図形 (2) ア(ア) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 ◇円周角の定理の逆が成り立つことを知っている。 ☆円周角と中心角の関係を見いだすことができる。 ☆円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。 ○円周角と中心角の関係をみだそうとしている。 ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 数学科】 担当：浜砂美紀

指導の観点：◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	12 月	7章 三平方の定理を活用 しよう [三平方の定理] 1節 三平方の定理 2節 三平方の定理の利用	①三平方の定理の意味を理解し、それが証明できる ことを知る。 ②三平方の定理を見いだすことができる。 ③三平方の定理を具体的な場面で活用すること。	B図形 (3) ア(ア) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に 取り組む態度	◇三平方の定理の意味を理解し、それが証明できること を知っている。 ◇三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを 求めることができる。 ◇三平方の定理の逆が成り立つことを知っている。 ☆三平方の定理を見いだすことができる。 ☆三平方の定理を具体的な場面で活用することができ る。 ○三平方の定理を見いだそうとしている。 ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	授業観察 プリント課題 問題集課題 確認テスト 観点別単元テス ト 定期考査 自己評価シー

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 数学科】 担当：浜砂美紀

指導の観点：◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3学期	1月	8章 集団全体の傾向を推測しよう [標本調査] 1節 標本調査	①標本調査の必要性和意味を理解することができる。 ②コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。 ③標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。 ④簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。	Dデータの活用 (1) ア(ア) ア(イ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇標本調査の必要性和意味を理解している。 ◇コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。 ☆標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。 ☆簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。 ○標本調査の必要性和意味を考えようとしている。 ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	2月	復習演習 総合演習 発展学習 A 数と式 B 図形 C 関数 D データの活用 数学的活動	①第3学年で学習した単元の内容についての理解の程度を問題演習の形式で確認し、学び直す。 ②第3学年で学習した単元の内容をもとにした総合的な問題を解決することで、思考力・判断力・表現力を養う。 ③第3学年で学習した単元の内容をもとにした発展的な問題に小グループで取り組み、協働して問題を解決することができる。 ④日常の事象や社会の事象を数理的に捉え、数学的に表現・処理し、解決の過程や結果を振り返って考察することができる。 ⑤数学の事象から見通しをもって問題を見いだし解決したり、解決の家庭や結果を振り返って統合的・発展的に考察することができる。 ⑥数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合うことができる。	A(1) ア(ア)～(ウ) イ(ア)～(イ) A(2) ア(ア)～(イ) イ(ア)～(イ) B(1) ア(ア)～(イ) イ(ア)～(ウ) B(2) ア(ア) イ(ア)～(イ) B(3) ア(ア) イ(ア)～(イ) C(1) ア(ア)～(ウ) イ(ア)～(イ) D(1) ア(ア)～(イ) イ(ア)～(イ) 数学的活動 ア～ウ	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y=ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ◇事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 ☆数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察することができる。 ☆図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現することができる。 ☆関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。 ☆標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりすることができる。 ☆数学の事象や日常的な事象から見通しをもって問題を見いだし解決したり、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察することができる。 ○数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 ○多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしている。	授業観察 自己評価シート プリント課題 問題集課題 単元確認テスト 学習調整テスト 定期考査
	3月						

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 理科】 担当：杉本

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	単元1 運動とエネルギー 1章 力の合成と分解 2章 水中の物体に伝わる力 3章 物体の運動	・力の合成や分解についての実験を通して、合力や分力の規則性を理解する。 ・実験を通して、物体に働く水圧と浮力との関係性を理解する。 ・物体の運動に速さと向きがあることを知る。	◆1分野(5)ア(ア)①, イ ◆1分野(5)ア(ア)⑦, イ ◆1分野(5)ア(イ)⑦①, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	・合力・分力の実験や作図をすることができる。 ・実験を見通しをもって行い、その結果を分析して合力の規則性を見いだして表現している。 ・物体に働く水圧・浮力について規則性やそれを調べる実験の技能を身に付けている。 ・水圧・浮力に関する事柄に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。 ・運動には速さと向きがあることを理解している。 ・記録タイマーを用いて物体の速さを求められ	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
	5 月	単元1 運動とエネルギー 3章 物体の運動 4章 仕事とエネルギー	・観察・実験を通し、向きや時間、速さ、距離の関係をみいだす。 ・仕事に関する実験から、仕事の原理を知る。 ・衝突実験から、物体のもつエネルギーは他の物体にする仕事で測れることを理解する。 ・力学的エネルギーの実験から、運動エネルギーと位置エネルギー、エネルギーの総量の関係を理解する。	◆1分野(5)ア(イ)①, イ ◆1分野(5)ア(イ)⑦, イ ◆1分野(5)ア(ウ)⑦, イ ◆1分野(5)ア(ウ)①, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	・物体の運動について問題を見だし、運動の関係を調べる実験を行っている。 ・台車の運動を記録タイマーを用いてグラフで表すことができる。 ・仕事・仕事率について理解している。 ・力学的エネルギーについて実験の結果を分析し、規則性を見いだして表現している。 ・力学的エネルギーに関する事柄に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
	6 月	単元1 運動とエネルギー 4章 仕事とエネルギー 単元2 生命のつながり 1章 生物の成長とふえ方	・これまでの観察・実験を通して日常生活や社会では様々なエネルギーの変換を利用していることを見いだす。 ・細胞分裂の観察を行い、細胞分裂と生物の成長とを関連付けて理解する。	◆1分野(7)ア(ア)⑦, イ ◆1分野(2)ア(ア)①, イ ◆2分野(5)ア(ア)⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	・エネルギーの変換・変換効率について理解している。 ・エネルギーとその利用について問題を見だし、効率的な利用について考察し、表現している。 ・プレパラートを作成し、目的の細胞を観察・記録することができる。 ・生物の成長は体細胞分裂が関係することを見だし、表現できる。 ・植物の成長に関心をもち、科学的に探究しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
	7 月	単元2 生命のつながり 1章 生物の成長とふえ方 2章 遺伝の規則性と遺伝子	・生物のふえ方を観察し、有性生殖と無性生殖の特徴を見いだして理解する。 ・交配実験の結果などから、有性生殖のときの形質遺伝について規則性を見いだして理解する。	◆2分野(5)ア(ア)⑦, イ ◆2分野(5)ア(イ)⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	・それぞれの細胞分裂について理解している。 ・生物の殖え方に関心をもち、意欲的に探究しようとしている。 ・遺伝の仕組み、規則性を理解し、遺伝子の組み合わせや比を表現できる。 ・形質遺伝を受精や減数分裂と関連付けて考え、表現している。 ・遺伝子やDNAと日常生活との関係について調べようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 理科】 担当：杉本

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期 月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9月 単元2 生命のつながり 3章 生物の種類の多様性と進化 単元3 自然界の繋がり 1章 生物どうしのつながり 2章 自然界を循環する物質	・現存の生物と化石を比較し、生物には環境などの要因によって進化することを理解する。 ・食べる・食べられるという関係から相互について合いを保っていることを見いだす。 ・土の中の微生物の働きを調べ、分解者の役割を知る。 ・自然界での物質の循環と生物の生活との関係を見いだす。	◆2分野(5)ア(ウ) ⑦, イ ◆2分野(7)ア(ア) ⑦, イ ◆2分野(7)ア(ア) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	・生物の進化の概念を理解している。 ・これまでに学習したことを整理し、進化の方向性について考えをまとめ、表現している。 ・消費者、生産者、食物連鎖などについて理解し、知識を身に付けている。 ・食物連鎖と個体数など関係をまとめ、表現している。 ・微生物の働きを知り、物質の循環について理解し、知識を身に付けている。 ・身の回りの生物や物質の循環に興味をもち、科学的に探究しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
	10月 単元4 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン 2章 化学変化と電池	・電解質を理解し、電気分解によって電極に物質が生成することからイオンについて知る。 ・金属によってイオンのなりやすさが異なることを見いだして理解する。 ・化学エネルギーと電気エネルギーの関係をその利用について理解する。	◆1分野(1)ア(ア) ⑦, イ ◆1分野(6)ア(ア) ⑦, イ ◆1分野(6)ア(イ) ⑦, イ ◆1分野(6)ア(イ) ④, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	・原子の成り立ちとイオンについて基本的な概念や原理、法則などを理解している。 ・水溶液とイオンについて見通しをもって実験を行い、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現している。 ・金属イオン、化学変化と電池についての基本的な概念などを理解すると共に、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
	11月 単元4 化学変化とイオン 2章 化学変化と電池 3章 酸・アルカリとイオン	・電池の基本的な仕組みを理解すると共に、化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを理解する。 ・酸とアルカリの特性が水素イオンと水酸化物イオンによることを知る。 ・酸とアルカリを混ぜると中和し、塩が生成されることを理解する。	◆1分野(6)ア(イ) ⑦, イ ◆1分野(6)ア(イ) ⑦, イ ◆1分野(6)ア(ア)イ ◆1分野(6)ア(ア) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	・化学変化と電池に関する事物、事象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。 ・電子が電極における電子の授受によって外部に電流を取り出していることを見だし、イオンと関連付けて表現している。 ・酸とアルカリ、中和と塩について理解していると共に、科学的に探究するために必要な観察、実験の操作などの技能を身に付けている。 ・実験結果をイオンと関連付けて分析し、それぞれの性質や中和における規則性などを見だし、表現している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
	12月 単元5 地球と宇宙 1章 天体の動き	・天体の日周運動の観察を行い、地球の自転と関連付けて理解する。 ・星座の年周運動の観察を行い、地球の公転と関連付けて理解する。	◆2分野(6)ア(ア) ⑦, イ ◆2分野(6)ア(ア) ④, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	・日周運動と自転、年周運動と公転について理解し、観察や実験の基本的な技能を身に付けている。 ・天体の動きと地球の動きについて、観察や実験などを行って得た結果を分析し、それらについての規則性や関係性を見いだして表現している。 ・四季の星座の変化に関心をもち、星座の変化や太陽の動きについて地球の動きと関連付けて科学的に探究しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 理科】 担当：杉本

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	単元5 地球と宇宙 2章 月と惑星の運動 3章 宇宙の中の地球	・太陽の高度による変化について地球の公転や地軸の傾きと関連付けて理解する。 ・月や金星の公転や見え方について観察結果や観測資料をもとに考え、理解する。 ・太陽の観察を行い、その記録や資料に基づいて、太陽の特徴を見だし、理解する。	◆2分野(6)ア(ア)⑦, イ ◆2分野(6)ア(イ)⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	・太陽の光があたる角度と温度変化の観察を正しく記録している。 ・昼夜の長さの変化は地球の公転と地軸の傾き原因であることを理解している。 ・月の満ち欠けについて太陽と月、地球の位置や月の公転などと関連付けて考え、表現している。 ・黒点の観察記録から、太陽が球形で自転していることを考え、まとめ、表現している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
	2 月	単元5 地球と宇宙 3章 宇宙の中の地球 単元6 地球の明るい未来のために 1章 自然の環境と人間	・観測資料などをもとに、恒星と惑星の特徴を見だして理解する。 ・太陽系や銀河系の構造、宇宙の広がりについて理解する。 ・身近な自然環境について様々な要因が自然界のつり合いに影響することを理解する。 ・自然環境を保全する重要性を認識する。	◆2分野(6)ア(イ)⑦, イ ◆2分野(6)ア(イ)⑦, イ ◆1分野(7)ア(ア)⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	・縮尺モデルなどを活用し、惑星の大きさやそれぞれの距離などを調べて理解し、知識を身に付けている。 ・太陽や銀河系などについて興味をもち、天体の種類や特徴などについて調べようとしている。 ・自然環境の調査を行い、異なる場所における自然環境の特徴を調べ、結果を科学的に分析して表現している。 ・自然環境の保全のために、自然を保護したり、共生したりする仕組みについて理解している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
	3 月	単元6 地球の明るい未来のために 2章 科学技術と人間 終章 これからの私たちの暮らし	・人間は自然の様々なものからエネルギーを得ていることを知るとともに、その有効な利用が大切であることを認識する。 ・科学技術の発展の過程を知るとともに、科学技術が人間の生活を豊かで便利にしていることを認識する。 ・自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について科学的に考察し、持続可能な社会をつくることが重要であることを認識する。	◆1分野(7)ア(ア)⑦, イ ◆1分野(7)ア(イ)⑦, イ ◆2分野(7)ア(イ)⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	・日常生活や社会と関連付けながら、エネルギーとその資源や利用などについて理解している。 ・科学技術の発展に関する事例などについて調べ、科学技術が人間の生活を豊かにしてきたことについて自分の考えをまとめて表現している。 ・自然環境の保全と科学技術の利用について調査などを行い、自らの考えをまとめて表現している。 ・自然環境の保全と科学技術の利用に関する事象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 音楽科】 担当：樋口紘子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	心の歌 【花】	歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみ主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート
	5 月	歌舞伎	歌舞伎の特徴を感じ取りながら、舞台芸術を楽しもう 長唄の特徴をとらえて表現・鑑賞し、よさを味わう	鑑賞-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 音色、リズム、速度、旋律を知覚し曲や演奏の評価と根拠を考え、美しさを味わって聴いている。	定期考査 ワークシート
	6 月	ボレロ 合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】	音楽の特徴や音楽を形づくっている要素や、構造と曲想とのかかわり、背景などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	鑑賞-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、曲や演奏の評価と根拠を考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技試験 観察 ワークシート 定期考査 観察 ワークシート
	7 月	合唱コンクール課題曲・自由曲					

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 音楽科】 担当：樋口紘子

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】	パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート
	10 月	合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】 音楽と曲想とのかかわり 『ボレロ』	音楽の特徴や音楽を形づくっている要素や、構造と曲想とのかかわり、背景などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、曲や演奏の評価と根拠を考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。	観察 ワークシート
	11 月	帰れソレントへ ポピュラー音楽	曲想を味わい、言葉の特性を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 様々なポピュラー音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、その良さや美しさを味わいながら聴く。	歌唱-ア・イ 鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 日本歌曲との発声・発音の違いを理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 音楽の特徴と背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心を持ち、楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験 観察 ワークシート 実技 定期考査
	12 月	能【敦盛】	雅楽や能の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 音楽の特徴と背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみ主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 音楽科】 担当：樋口紘子

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学 期	1 月	世界の諸民族の音楽	世界の諸民族の音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	観察 ワークシート
	2・3 月	きみとともに 国歌【君が代】 卒業式式歌【曲目未定】 歌唱実技試験	歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりやパートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 美術科】

担当：上村 千穂 桐山 侑紀

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4月	オリエンテーション オノマトペを形にしよう モダンテクニックの体験	○一年間の学習の流れを把握する。 ○オノマトペ（擬音語・擬声語）を文字のデザインや絵、抽象的な形や線で表現できるようにする。 ○モダンテクニックの技法を体験し、用具の使い方や色の合わせ方で面白い表現につなげることができるようにする。 ○モダンテクニックの技法が与えるイメージに気づき、使える場面を想定することができるようにする。	A表現(1)-ア-ア A表現(2)-ア-(ア) 共通事項(1)-ア	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・オノマトペから言葉の意味やイメージに着目し、文字のデザインや絵、抽象的な形や線を工夫して表すことができる。 ・用具の使い方や絵の具の溶き方で効果が変わることに着目し、試行錯誤して様々な表現に表すことができる。 ・表現からイメージをふくらませ、制作に使える場面を想定することができる。 ・モダンテクニックの技法体験を楽しむ、表現からイメージを膨らませ意欲的に取り組むことができる。	プリント評価 授業観察 作品評価
	5月	モダンテクニックの体験 修学旅行に向けて 「仏像に宿る心」	○モダンテクニックの技法を体験し、用具の使い方や色の合わせ方で面白い表現につなげることができるようにする。 ○モダンテクニックの技法が与えるイメージに気づき、使える場面を想定することができるようにする。 ○修学旅行を前に日本の伝統的な作品鑑賞を通して作品の良さや見どころを理解できるようにする。	A表現(1)-ア-(ア) 共通項目(1)-アイ B鑑賞(1)-イ-(イ) A表現(2)-ア-(ア)(イ)	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・モダンテクニックの体験をとおして、表現からイメージしたことや自分なりの見方をまとめることができる。 ・伝統美術である仏像や建築、工芸品などを鑑賞し、良さや美しさを感じ、見方を深めることができる。 ・修学旅行の事前授業として意欲的に学び修学旅行での鑑賞活動に生かすことができる。	授業観察 プリント評価 自己評価
	6月	絵画 「私の中のありえない世界」 導入鑑賞 「空想は現実を超えて」 《記憶の固執》《白紙委任状》 絵画制作 「私の中のありえない世界」 ・作品の構想 ・アイディアスケッチ ・相互作品鑑賞 ・作品制作	○シュールレアリスムの巨匠、サルバドール・ダリとマグリットの作品を鑑賞し、デペイズマンの効果を実感できるようにする。 ○自由連想法で発想し、自分の内側にある思いに気づき主題を生み出すことができる。 ○主題を表すために適切な技法や材料、用具を模索できるようにする。 ○友人とアイディアスケッチの交流活動を行い作品の意図や工夫に気づくことができ、自分の制作を見直すことができるようにする。 ○主体的に発想・構想を深め、見通しを持って制作することができるようにする。	B鑑賞(1)-ア-(ア) A表現(1)-ア-(ア) A表現(2)-ア-(ア)(イ) 共通項目(1)-ア、イ	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・ダリとマグリットの作品を鑑賞し、登場するモチーフの関連性からありえない組み合わせ（デペイズマン）の技法に気づく。 ・デペイズマンの技法によって絵の面白さが引き立つことに気づくことができる。 ・自由連想法で自分に関するキーワードを集めそこからデペイズマンを使って主題を生み出し、自分らしい表現の構想を練ることができる。 ・自他の作品を鑑賞し表現の意図や工夫、効果に気づくことができる。	授業評価 プリント評価 アイディアスケッチ評価 自己評価 作品評価
	7月	絵画 「私の中のありえない世界」 ・作品制作	○主題を表現するために効果的な表現を必要に応じて取捨・選択し、絵の具や用具の特性を生かし、より良く表現しようとするようにする。 ○主題を表現するために効果的な技法や配置を検討し、構想を練ることができるようにする。 ○空想の世界に関心を持ち、自分の思いを表現するための方法を意欲的に模索しようとするようにする。	A表現(1)-ア-(ア) A表現(2)-ア-(ア)(イ) 共通項目(1)-ア、イ	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・モダンテクニックや水彩の技法、材料や用具の特性を生かし、意図に応じた表現ができる。 ・制作の順序を考え、見通しを持って取り組むことができる。 ・主題を表現するために効果的な表現になっているか見直すことができる。 ・空想や夢に関心を持って、自分の思いを意欲的に表すことができる。	授業観察 作品評価 プリント評価 自己評価

令和6年度 年間指導計画・評価計画

【3年 美術科】

担当：上村 千穂 桐山 侑紀

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	絵画 「私の中のありえない世界」 ・作品制作 ・作品相互鑑賞	○主題を再確認し、主題に沿った表現になっているか、そのための技法や材料が適切か、さらに工夫を重ねる必要性や方法を再度構想できるようにする。 ○自他の作品を鑑賞し、良さや意図を感じ、工夫を見つけることができるようにする。	A表現(1)-ア-(ア) 共通事項(1)-アイ B鑑賞(1)-ア-(ア)	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・主題を表現できているか見直し、さらに必要な工夫があれば取り組み完成度をあげることができる。 ・自他の作品を鑑賞し作品の良さや表現の意図、工夫や組み合わせの効果に気づくことができる。	授業観察 プリント評価 自己評価 作品評価
	1 0 月	塑像 「食を彩ろう～伝統的和菓子づくり」 季節感を取り入れた四季折々の表現の理解 素案・絵図の制作鑑賞 素案から試作づくり	○伝統的な和菓子のレプリカ作成を通して生活に息づく美術の働きに気づき、日本独自の美意識を感じることができるようにする。 ○日本の伝統色を知り、日本人が季節によって感じてきた色彩感覚を理解できるようにする。 ○実際の和菓子参考例から、季節感と形や色の工夫を理解できるようにする。 ○季節の和菓子絵図を表現することで季節感と食とのとらえ方、美意識を理解できるようにする。	B鑑賞(1)-イ-(イ) 共通項目(1)-ア、イ A表現(1)-イ-(ア) A表現(1)-イ-(ウ) B鑑賞(1)-ア-(イ)	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・実際の和菓子の資料や参考作品から日本独自の美意識を理解できる。 ・日本人の季節の感覚が色や形に現れていることに気づき工夫をみつけることができる。 ・色鉛筆の濃淡や混色を試みながら、季節感あふれる独自の色を発見することができる。 ・季節感を正しく捉えた色彩を選び、形の抽象化、単純化を取り入れた表現ができる。 ・色彩の濃淡や色合いの違いによる季節の表現を見出せる。	授業観察 プリント評価 素案評価 自己評価 作品評価 定期考査
	1 1 月	塑像 「食を彩ろう～伝統的和菓子づくり～」 本作品制作 作品相互鑑賞 定期考査	○季節感を取り入れた四季折々の表現に着目し、造形作品としての美しさを具体的に表せられるように材料や用具を工夫して表現することができるようにする。 ○季節感を表す表現に関心を持ち自身の見方を大切にして意欲的に表現できるようにする。 ○友人の作品を鑑賞し、良さや美しさ、表現の工夫をや見つけることができるようにする。 ○定期考査によって美術の知識を定着させ今後の人生の中で美術とのつながりを持ち続けられるようにする。	A表現(1)-イ-(ア、ウ) 共通項目(1)-ア B鑑賞(1)-ア-(イ) B鑑賞(1)-イ-(ア、イ)	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・季節感を表現した造形作品として表すために色や簡略化した形の工夫、用具を効果的に使うことができる。 ・季節を表す表現に関心を持ち、自分なりの見方が具体的に表現に結びつくように試行錯誤し意欲的に制作に取り組むことができる。 ・友人の作品から色や形、用具の使い方の工夫に着目し、制作の意図をつかむことができる。 ・定期考査に向けて美術の基礎知識を再確認し、美術の役割について考えることができる。	授業観察 作品評価 自己評価
	1 2 月	工芸 「心がほっとなごむもの」 ～銘々皿の制作～ アイディアスケッチ 作品相互鑑賞	○お菓子を乗せる銘々皿を鑑賞し、デザインの良さや美しさを感じ、生活に与える豊かさを感じることができるようにする。 ○地色の黒と上に載せる千代紙の色の組み合わせによって効果の違いに気づくことができるようにする。 ○表現したい季節感に合う色や形の組み合わせを考え、使用する人の気持ちを考えたデザインをアイディアスケッチにまとめることができるようにする。	A表現(1)-イ-(ア、ウ) 共通項目(1)-ア B鑑賞(1)-ア-(イ) B鑑賞(1)-イ-(ア、イ)	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・生活で使われている銘々皿を鑑賞し、良さや美しさを感じ、素材や色、形の工夫点を見つけることができる。 ・主題を決定し、主題を表す色彩や形の表現を構想することができる。 ・形や色鉛筆の濃淡、重なりによって表情の違いを感じ主題を表現するための工夫を考え、表現できる。 ・制作に見通しを持って取り組み、アイディアスケッチを完成させることができる。	授業観察 プリント評価 アイディアスケッチ評価 自己評価

令和6年度 年間指導計画・評価計画

【3年 美術科】

担当：上村 千穂 桐山 侑紀

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学 期	1 月	「心がほっとなごむもの」 ～銘々皿の制作～ 本作品制作	○2学期に制作したアイディアスケッチをもとに主題をよりよく表現するための構想を練り、材料や形・色彩を選択できるようにする。 ○千代紙や金箔などの材料の特性を知り、的確に使えるようにする。 ○千代紙や金箔など材料の特性に合わせて制作の順番を考え、見通しを持って表現できるようにする。	A表現(1)-イ(ア、ウ) 共通項目(1)-ア	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・主題を表現するためにアイディアスケッチで構想した方法が実際に使う千代紙や道具の特性に合っているか、吟味を繰り返しながら制作を進めることができる。 ・千代紙や金箔などの材料やハサミ、ニスなど道具の特性を理解し、的確な使用ができています。 ・千代紙や金箔など道具の特性に合わせて制作の順番を考え、見通しを持って表現できる。	授業観察 作品評価 自己評価
	2 月	「心がほっとなごむもの」 ～銘々皿の制作～ 本作品制作	○自分の制作を再確認し、主題をよりよく表現するための表現を追求できるようにする。 ○千代紙や金箔、ニスなどの材料の特性を知り、的確に使えるようにする。 ○千代紙や金箔など材料の特性に合わせて制作の順番を考え、見通しを持って表現できるようにする。	A表現(1)-イ(ア、ウ) 共通項目(1)-ア	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・銘々皿の工芸品、日用品としての用途を理解しながら個性ある美的要素を効果的に取り組み作品として具現化できる。 ・学習した地色の黒との対比の効果や形、素材を生かした表現にすることができる。 ・ニスの特性を理解し、道具の正しい使い方をし、丁寧に仕上げをすることができる。	授業観察 作品評価 自己評価
	3 月	「心がほっとなごむもの」 ～銘々皿の制作～ 作品相互鑑賞 三年間のまとめと振り返り	○友人の作品を鑑賞し、良さや美しさを感じ主題を表現するための工夫点に気づくことができるようにする。 ○三年間の学習を振り返り、社会における美術の役割に着目し、人生に渡って美術を愛好する心情を持てるようにする。	B鑑賞(1)-ア(イ) B鑑賞(1)-イ-(ア、イ)	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・友人の作品から表現の意図を感じ、主題を表現するための工夫を見つけることができる。 ・使用するもの（銘々皿）として美術がどう関わり生活を豊かにしているか感じることができる。 ・三年間の学習を振り返り、美術と社会のかかわりに気づき生活を豊かにするものとしてとらえることができる。	授業観察 プリント評価 自己評価

令和6年度 年間指導計画・評価計画【3年 保健体育科】担当：小柴なぎさ・村上正樹

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	A 体づくり運動	(1) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高め、目的に適した運動を身につけ、組み合わせることができるようにする。 (2) 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 体づくり運動の意義と行い方などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 体ほぐし運動 イ. 体力を高める運動	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・体を動かす楽しさや心地よさを味わおうとしている。 ・自分の体力や目的にあった運動を選び、組み合わせることができる。 ・体ほぐしの運動……心と体は互いに影響し変化することに気づき、体の状態に応じて体の調子を整え、仲間と積極的に交流するための手軽な運動や律動的な運動を行うことができる。 ・体力を高める運動……ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力向上を図るための運動の計画を立てて取り組むことができる。 ・体づくり運動の意義とその行い方を知っている。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 振り返り カード 期末考査
	5・6 月	C 陸上競技	(1) 陸上競技の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができるようにする。 (2) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康安全に気を配ることができるようにする。 (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 短距離走 リレー	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・全力で競技したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行おうとしている。 ・自分の能力に適した目標記録や課題に対し、練習を創意・工夫・思考している。 ・技能を高めたり、記録を高めたりすることができる。 ・特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解している。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 振り返り カード 期末考査
	7 月	D 水泳	(1) 水泳の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身につけることができるようにする。 (2) 水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. クロール イ. 平泳ぎ ウ. 背泳ぎ エ. バタフライ	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・続けて長く泳ぐ、速く泳いだり競争したりする水泳の楽しさや喜びを味わおうとし、技能を高めることができる。 ・水泳の特性に応じた技能を練習で身につけ、技術の名称、運動のポイントなどを理解している。 ・目標を達成するための課題に対し、創意・工夫・思考している。 ・水泳の事故防止の心得や安全な行動のしかたを理解し、知識を持っている。また、それに準じた行動ができる。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 振り返り カード 期末考査

令和6年度 年間指導計画・評価計画【3年 保健体育科】担当：小柴なぎさ・村上正樹

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価標準	評価方法
2 学期	9 月・ 10 月	F 武道	(1) 柔道の運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる受け身や技ができるようにする。 (2) 柔道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 柔道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 柔道	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・礼儀作法を重んじて、相手を尊重し、自分を律する態度をとろうとしている。 ・用具や会場の安全を確かめたり、受け身の技能を高め、禁じ技を用いないなど、安全に留意している。 ・自分に対しての課題を創意・工夫・思考している。 ・各種の練習を通して、段階的、系統的に技能を身につけている。 ・柔道の特性や基本動作、対人的な技術構造、学習の進め方を理解している。 ・礼儀作法や競技のルール、知識を身につけている。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 振り返り カード 期末考査
	9 月・ 10 月	E 球技	(1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	イ. ネット型 「バレーボール」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 振り返り カード 期末考査
	11 月・ 12 月	E 球技	(1) 運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 運動に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. ゴール型 「バスケットボール」 ア. ゴール型 「サッカー」 又は 「ハンドボール」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 振り返り カード 期末考査

令和6年度 年間指導計画・評価計画【3年 保健体育科】担当：小柴なぎさ・村上正樹

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月・ 2 月・ 3 月	E 球技	（1）運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 （2）積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようにする。 （3）特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ウ. ベースボール型 「ソフトボール」又は ア. ゴール型 「ハンドボール」 イ. ネット型 「卓球」 「バドミントン」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 振り返りカード 期末考査

令和6年度 年間指導計画・評価計画【3年 保健体育科】担当：小柴なぎさ・村上正樹

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
保健・ 体育理論	2・3 学期	体育理論	・運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全を理解できるようにする。	「スポーツの効果と安全」 ・スポーツが体と心に及ぼす効果 ・スポーツと社会性 ・スポーツの学び方 ・スポーツの安全な行い方	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	○運動やスポーツの意義や効果などについて、関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。 ○運動やスポーツの意義や効果などについて、学習した知識を活用したり、応用したりしている。 ○運動やスポーツの意義や効果などについて、理解している。	授業態度 発言内容 学習プリント 期末考査
	3 学期	保健	・生活習慣の健康への影響について学び、喫煙・飲酒・薬物乱用を避けるための具体的な対処のしかたについて考えることができるようにする。	「健康な生活と病気の予防」 ・生活習慣病とその予防 ・がんとその予防 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	○生活習慣病やがんの予防に関心を持ち、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ○習得した知識を自他の生活と比較したり、活用したりして、健康の保持増進する方法を考えたり、選択したりしている。 ○喫煙・飲酒・薬物乱用の心身への害と社会への悪影響について、理解している。	授業態度 発言内容 学習プリント 学年末考査

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 技術科】 担当：齋藤優太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期		ガイダンス ・学習の見通し ・授業の約束ごとの確認					
	4 月	生物育成の技術 ・生物を育てる技術を見つけよう ・生物を育てる技術を知ろう ・実習や見学の安全な進め方を知ろう ・育ててみよう	生物育成の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている生物育成の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中から生物育成の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に生物育成の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	B (1) アイ B (2) アイ	知識・技能	・作物、動物および水産生物の成長、生態などについて科学的な原理・法則を理解している。	定期テスト
	5 月	・生物を育てる技術の工夫を調べ考えよう			思考・判断・表現	・技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	ワークシート 定期テスト
		・生物育成の計画を立てよう			主体的に学習に取り組む態度	・進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。	ワークシート
		・計画に沿って作物を栽培しよう			知識・技能	・ベビーリーフの育成を通して、生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを理解している。 ・ベビーリーフの育成を通して、実習の安全な作業の進め方を身に付けている。 ・育成計画の考え方や手順を理解している。	観察 定期テスト
	6 月	・家畜や水産生物を育てる技術を体験しよう ・社会の発展と生物育成の技術			主体的に学習に取り組む態度	・自分なりの新しい考え方や捉え方によって知的財産を創造し、他者の新しい考え方や捉え方も知的財産として尊重し、またそれらを保護・活用しようとしている。 ・自ら問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。	ワークシート
	7 月						

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 技術科】 担当：齋藤優太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学 期	9 月	情報の技術 ・計測・制御システムの技術を 知ろう ・計測・制御システムの設計の しかたを知ろう ・設計に沿った計測・制御シス テムを製作しよう 「マグカップデザイン製作」	情報の技術の見方・考え方を働かせた実践 的・体験的な活動を通して、生活や社会で 利用されている情報の技術についての基礎 的な理解を図り、それらに係る技能を身に 付け、情報の技術と生活や社会、環境との 関わりについて理解を深めるとともに、生 活や社会の中から情報の技術に関わる問題 を見いだして課題を設定し解決する力、よ りよい生活や地域社会の構築に向けて、適 切かつ誠実に情報の技術を工夫し創造しよ うとする実践的な態度を身に付ける。	D（3）アイ	知識・技能	・計測・制御の仕組み等の原理・法則を理解してい る。	定期テスト
					主体的に学習に 取り組む態度	・進んで情報の技術に関わり主体的に理解し、技能 を身に付けようとしている。	ワークシート
					知識・技能	・設計の考え方や手順を理解している。	定期テスト
					思考・判断・表 現	・技術の見方・考え方を働かせて、生活の中から問 題を見いだして課題を設定している。	定期テスト ワークシート
	10 月				主体的に学習に 取り組む態度	・自分なりの新しい考え方や捉え方によって知的財 産を創造し、他者の考え方や捉え方も知的財産とし て尊重し、またそれらを保護・活用しようとしてい る。	ワークシート
					知識・技能	・安全・適切にプログラムの制作、動作の確認がで きる。	製作品 観察
					知識・技能	・知的財産、ユニバーサルデザイン等の観点から製 作品を見直すことができる。	定期テスト
	11 月				・主体的に学習 に取り組む態度	・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよい ものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正 しようとしている。	ワークシート
	12 月						

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 技術科】 担当：齋藤優太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	情報の技術 ・双方向性のあるコンテンツの 技術を知ろう ・双方向性のあるコンテンツの 設計のしかたを知ろう ・設計を図で表す方法を知ろう ・設計に沿った双方向性のある コンテンツを製作しよう	情報の技術の見方・考え方を働かせた実践 的・体験的な活動を通して、生活や社会で 利用されている情報の技術についての基礎 的な理解を図り、それらに係る技能を身に 付け、情報の技術と生活や社会、環境との 関わりについて理解を深めるとともに、生 活や社会の中から情報の技術に関わる問題 を見いだして課題を設定し解決する力、よ りよい生活や地域社会の構築に向けて、適 切かつ誠実に情報の技術を工夫し創造しよ うとする実践的な態度を身につける。	D（2）アイ	知識・技能	・情報通信ネットワークの構成と、情報を利用する ための基本的な仕組みについて理解している。	ワークシート 定期テスト
					知識・技能	・コンテンツに用いる各種メディアの基本的な特徴 について理解している。	定期テスト
					知識・技能	・設計の考え方や手順を理解している。	定期テスト
	2 月				思考・判断・表 現	・情報の技術の見方・考え方を働かせて、地域社会 の中から問題を見いだして課題を設定している。	ワークシート
					思考・判断・表 現	・課題を解決するために、条件を踏まえて適切なメ ディアを選択し、構想を具体化して設計や計画をま とめている。	ワークシート 定期テスト
					主体的に学習に 取り組む態度	・自分なりの新しい考え方や捉え方によって知的財 産を創造し、他者の考え方や捉え方も知的財産とし て尊重し、またそれらを保護・活用しようとしてい る。	ワークシート
3 月	主体的に学習に 取り組む態度	・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよい ものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正 しようとしている。	ワークシート				

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 家庭科】 担当：林 歩美

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4・5 月	C 消費生活・環境 1 家庭生活と消費 2 購入・支払いと生活情報 3 消費者被害と消費者の自立 4 持続可能な社会	契約について理解できる。様々な販売方法と支払方法の特徴について理解できる。商品を適切に選択、購入、活用することができる。消費者トラブルの事例とその解決方法を理解できる。	C (1) アイ (2) アイ	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	・生活にかかるお金の収入と消費のバランスの大切さを知る。 ・さまざまな購入・支払方法について知り、消費生活のトラブルを防ぐ ・消費者の権利と責任について理解する。	ワーク 授業への 取り組み 期末試験 提出物
	6 月	A 家族・家庭生活 1 自分の成長と家族・家庭生活 ① 今の自分とこれまで	・自分の成長と家族や地域の人々とのかかわりと、自分自身の理解を深める。	A (1) ア	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	・自分の成長は家族をはじめ、多くの人に支えられ、影響を受けてきたことに気づいている。	ワーク 授業への 取り組み 期末試験 提出物
	7 月	A 家族・家庭生活 2 幼児の生活と家族 ① 幼児のころと今の自分 ② 幼児の体の発達 ③ 幼児の心の発達	幼児の体の発達、心の発達の特徴について理解できる。	A (2) ア (ア)	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	・幼児の体の発達、心の発達について理解している。 ・発達には一定の方向と順序があり、個人差があることをふまえて理解する。	ワーク 授業への 取り組み 期末試験 提出物

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 家庭科】 担当：林 歩美

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	A 家族・家庭生活 ④ 発達にとってのお とな役割	幼児の生活習慣について理解で きる。	A（2）ア （ア）	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・基本的な生活習慣、社会的な生活習 慣について理解している。それが自分 に身についていたのは一長一短ではないこ とを学ぶ。	ワーク 授業への 取り組み 期末試験 提出物
	10 月	A 家族・家庭生活 ⑤ 遊びが必要なわけ ⑥ 遊びを支える環境	幼児の遊びの意義について理解 できる。	A（2）ア （イ）	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・遊びの意義がわかる。 ・幼児は遊びにより人間として必要な 基本的なことがらを学んでいくことを 理解する。	ワーク 授業への 取り組み 期末試験 提出物
	11 月	A 家族・家庭生活 絵本を作る	幼児の心身の発達に応じたおも ちゃや遊びについて考え、工夫 することができる。	A（2）ア （イ）	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・自分の生きてきた15年間を振り返 り、絵本の製作をする。 ・絵本製作を通して、幼児期の子ども の心、自分が興味あったことを振り返 ることができる。	ワーク 授業への 取り組み 期末試験 提出物
	12 月						

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 家庭科】 担当：林 歩美

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	A 家族・家庭生活 幼児のおやつをつくる	幼児のおやつ意義について考え、調理することができる。	A (2) ア (イ)	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	・幼児のおやつの特徴を理解し、作る。	ワーク 授業への 取り組み 期末試験 提出物
	2 月	A 家族・家庭生活 1 自分の成長と家族・家庭生活 ② わたしの生活と家族・家庭 ③ 家庭を支える社会 ④ 中学生にとっての家族	・家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。 ・自分や家族の生活は家庭内や家族外の活動が支えていることに気づく。 ・家族には互いの立場や役割があり、協力することで家族関係をよりよくすることができることを理解する。	A (3) ア (ア) (イ)	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	・家庭にはさまざまな活動があることと、家庭の主な機能(はたらき)について理解している。 ・自分や家族の生活は、家庭の内外の活動によってささえられていることを理解している。 ・家族にはさまざまな形があることを理解している。・家庭生活は地域との相互のかかわりでなりたっていることについて理解している。	ワーク 授業への 取り組み 期末試験 提出物
	3 月	4 家庭生活と地域のかかわり 5 持続可能な家庭生活	・家庭生活は、地域との相互のかかわりで成り立っていることを理解する。 ・誰もが尊重される家庭・地域の生活をめざして、課題をみつけ、実践的に取り組む。				

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 英語科】 担当：小池紗貴

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1学期	4月	- Unit0 Three Interesting Facts about Languages - 学び方コーナー① - Unit1	- これまでに学んだことを使って、世界で話されている言語について書かれたレポートの情報を読み取ったり、行ってみたい国とそこで話されている言語について伝え合って書いたりすることができる。 - 障がい者スポーツについての理解を深め、人々を結びつけるスポーツの力について考える。 - これまでに経験したことにもとづいて、相手に合ったプランを伝えることができる。	- 聞くこと - 読むこと - 話すこと（やり取り） - 話すこと（発表） - 書くこと	- 知識・技能 - 思考・判断・表現 - 主体的に学習に取り組む態度	- 行ってみたい国とそこで話されている言語について伝え合ったり、書いたりするために、世界の言語について書かれた文章の情報を読み取っている。 - 人々を結びつけるスポーツの力について理解するために、障がい者スポーツについて書かれた文章の概要をとらえたり、日本を楽しんでもらうために、経験に基づいて相手に合ったプランを伝えたりしている。	- ワークシート - 行動観察 - ノート
	5月	- Let's Write1 - Let's Listen1 ディスカッション - Unit2 - Let's Talk1 はじめての出会い - Grammar for Communication1	- 気持ちを伝えるために、表現方法を工夫しながらファンレターを書くことができる。 - ディスカッションを聞き、自分の意見を考えるために必要な情報を理解することができる。 - ずっと好きなことや、これまで取り組んできたことについて伝え合うことができる。 - 初対面の相手に配慮しながら、歓迎する気持ちを伝えることができる。	- 聞くこと - 読むこと - 話すこと（やり取り） - 話すこと（発表） - 書くこと	- 知識・技能 - 思考・判断・表現 - 主体的に学習に取り組む態度	- 好きな有名人に自分の気持ちや感想を伝えるため、表現方法を工夫し、ファンレターを書ける。 - 自分の意見を考えて述べるのに、必要な情報を理解するために、修学旅行で行く場所のディスカッションを聞いて、要点を聞き取る。 - 日本の伝統文化の魅力を知るため、言語や文化が書かれた文章の概要をとらえ、お互いを知るために、好きなことや取り組んできたことをたずねたり、伝える。 - 初対面の場所で歓迎の気持ちを伝えられるように、相手の状況に配慮しながら言葉をかけたり、相手に質問したり、答えたりしている。	- 定期考査 - 小テスト - ワークシート - パフォーマンステスト - 行動観察 - ノート - ワーク
	6月	- Learning Science in English - Let's Listen2 講演 - Unit3 - Let's Write2 記事への意見 - Grammar for communication2 - 学び方コーナー②	- 人間と環境の関係を考えるために、食物連鎖や生態系について整理し、情報をやり取りしたり書いたりすることができる。 - 社会的な話題に関する講演を聞き、話手の伝えたい内容を理解することができる。 - 自分の意見や考えを加えて記事を書くことができる。 - 社会的な話題について、理由や根拠を含めて、自分の意見を書くことができる。	- 聞くこと - 読むこと - 話すこと（やり取り） - 話すこと（発表） - 書くこと	- 知識・技能 - 思考・判断・表現 - 主体的に学習に取り組む態度	- 生態系の問題を知るため、人間と環境の関係について書かれた文章の概要を読み取り、情報を伝え合ったり書いたりする。 - 社会的な話題の講演を聞いて、要点をとらえている。 - 環境問題と私たちの生活について考えるために、絶滅の恐れのある動物について書かれた文章の概要をとらえ、現状や自分の考えを書いたりしている。 - 社会的な話題に関しての英文について意見を伝えられるよう、賛成か反対かを決め、その理由や根拠を整理し、投稿文を書くことができる。	- 定期考査 - 小テスト - ワークシート - パフォーマンステスト - 行動観察 - ノート - ワーク
	7月	- Stage Activity 1 My Activity Report - Let's Read1 A Mother's Lullaby	- これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。 - 物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちをこめて音読することができる。	- 聞くこと - 読むこと - 話すこと（やり取り） - 話すこと（発表） - 書くこと	- 知識・技能 - 思考・判断・表現 - 主体的に学習に取り組む態度	- 部活動や委員会などの活動について知ってもらうために、活動報告の構成を理解したうえで、経験や他の人へのメッセージを即興で話したり、内容についてのやり取りや原稿の推敲を通してまとまりのある文章を書いて発表したりしている。 - 気持ちをこめて音読することができるように、背景知識を使い、物語の流れに沿った場面の変化や登場人物の心情が書かれた文章の概要を捉えている。	- 小テスト - ワークシート - パフォーマンステスト - 行動観察 - ノート

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 英語科】 担当：小池紗貴

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	・Let's Listen3 ラジオの災害情報 ・Unit4 ・Let's Talk2 町中での手助け ・Learning CIVICS in English ・Let's Listen4 テレビの国際ニュース	・災害情報を聞き、どう行動するかを理解できる。 ・標識が何を意味しているかを説明できる。 ・相手の立場に立ち、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりできる。 ・選挙と投票について考えを深め、投票率に関する資料から読み取ったことを伝えたり、身近な話題について公約を考えて発表したりできる。 ・ニュースなどのテレビ番組の音声聞いて、概要や要点を理解できる。	- 聞くこと - 読むこと - 話すこと（やり取り） - 話すこと（発表） - 書くこと	- 知識・技能 - 思考・判断・表現 - 主体的に学習に取り組む態度	・どう行動すればよいかを理解して人に伝え、災害情報を聞いて必要な情報を聞き取っている。 ・防災への意識を高めるため、外国人の体験談や外国人支援について書かれた文章の要点を捉え、標識が何の意味か話したり、書いたりしている。 ・困っている相手に対し、状況に合った手助けができるよう、相手の立場に立った具体的な提案を申し出たり、相手からの質問に答えたりする。 ・選挙と投票の考えを深めるため、投票率に関する資料から読み取った情報を伝え合ったり、身近な話題について公約を考えて発表したりしている。	定期考査 小テスト ワークシート 行動観察 ノート ワーク
	1 0 月	・Unit5 ・Let's Write3 クラブや表の活用 ・Grammar for Communication3	・人やものについて詳しい情報を加えて説明することができる ・資料から読み取った情報について、事実と意見をわけて書くことができる ・後置修飾を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を深める。	- 聞くこと - 読むこと - 話すこと（やり取り） - 話すこと（発表） - 書くこと	- 知識・技能 - 思考・判断・表現 - 主体的に学習に取り組む態度	・平和や人権の大切さを考えるために、ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉えたり、あこがれの人物を紹介したりしている。 ・興味をもった話題を人に伝えることができるように、資料から読み取った情報について、事実と意見を整理し、まとまりのあるレポートを書いている。	小テスト ワークシート 行動観察 ノート
	1 1 月	・Stage Activity 2 Discover Japan ・Let's Listen4 世界で働く人へのインタビュー ・Unit6	・人物の経歴を聞いて、概要を理解することができる。 ・架空の状況について説明したり、感想や意見を述べたりすることができる。 ・相手の意見を聞いて、自分の主張を述べることができる。	- 聞くこと - 読むこと - 話すこと（やり取り） - 話すこと（発表） - 書くこと	- 知識・技能 - 思考・判断・表現 - 主体的に学習に取り組む態度	・日本を訪れる人に日本の魅力を知ってもらうために、日本や郷土の文化について書かれた文章を読んだり質問し合ったりして、詳しい情報を加えながらもまとまりのある文章を書いて紹介している。 ・働く人のインタビューを理解して質問に考えられるように、人物の経歴を聞いて概要を捉えている。 ・国をこえて助け合う大切さを理解するために、国際社会の状況について書かれた文章の概要を捉えたり、意見や感想を伝えたりしている。	定期考査 小テスト ワークシート 行動観察 ノート
	1 2 月	・Let's Talk3 食品の選択 ・Grammar for communication4 ・Let's Listen6 中学校生活の思い出	・仮定法を用いた文の形・用法・意味を復習し、理解を確かめる。 ・スピーチを聞いて、話の概要を理解することができる。	- 聞くこと - 読むこと - 話すこと（やり取り） - 話すこと（発表） - 書くこと	- 知識・技能 - 思考・判断・表現 - 主体的に学習に取り組む態度	・議論を通して考えを深めることができるように、食品の選択について、これまで読んだ内容や自分の考えを整理して、相手の意見を受けて主張を述べあっている。 ・スピーチができるようになるために、友達中学校生活の思い出についてのスピーチを聞いて、概要を捉えている。	小テスト ワークシート 行動観察 ノート

令和6年度 年間指導計画・評価計画 【3年 英語科】 担当：小池紗貴

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	- Stage Activity3 let's Have a Mini Debate - Let's Read2 Power Your Future	- 主張とその理由を明確にしながら、ディベートをすることができる。 - エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	- 物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、社会的な話題について書かれた文章を参考に、賛成・反対の立場を決めてグループでディベートを行い、論点に沿った主張をしている。 - 自分にできることや感想などを述べるができるように、様々なエネルギー問題について書かれた説明文の概要を捉えている。	小テスト ワークシート パフォーマンステスト 行動観察 ノート
	2 月	- Let's Read3 A Graduation Gift from Steve Jobs - 学び方コーナー③	- スピーチの原稿を読んで、内容の要点を理解し、自分の言葉で伝えることができる。 - 自分に合った英語の学習方法を見つけて、楽しく英語を学び続けるきっかけを作る。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	- メッセージの要点を自分の言葉で伝えることができるように、テーマとエピソードを整理し、生き方について書かれたスピーチ原稿の要点を捉えている。 - 楽しく英語を学ぶ続けるために、自分の合った英語の学習方法を見つけ、実際に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト ワークシート 行動観察 ノート
	3 月	中学校の総まとめ	教科書の付録教材や副教材を活用して、3年間の総復習を行い、自分の表現を相手に的確に伝えることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	中学校3年間で学んだ単語や・文法表現を活用して、自分の意見を相手に表現したり、書いたりすることができる。	小テスト ワークシート パフォーマンステスト 行動観察 ノート